

# 幼保一元化に関する考察（Ⅲ） ～ ベルギーの保育事情を通して～

## A study about the Educational Integration of Kindergarten and Day Nursery (3): Children's Educational Environment in Belgium

(2011年3月31日受理)

小野 順子  
Junko Ono

Key words : 幼保一元化, ベルギー, 就学前教育, 預かり保育, 学童保育

### 抄 録

日本の幼稚園と保育所の一体化・一元化を考える時、モデルが必要であると考え、教育先進国ベルギーの保育制度や年齢別の保育内容、保育サービスの実態を紹介する。

ベルギーでは義務教育は6歳からであるが、2歳半から通学可能なEnseignement Maternel（幼児保育園）は就学前教育を担っている施設として位置づけられている。希望する全ての子どもが通学することが可能であるため、家庭の保育事情に対応して、通常の保育時間以外に朝・昼・夕の保育サービス、また長期休暇中にも保育サービスがある。本稿では、これらの保育サービスの現状と在ベルギーの外国人(日本人を含む)の感想を紹介することによって、ベルギーの幼保一体施設の課題を明らかにし、日本の幼保一元化施設（こども園）考察の一材料とする。

### I. はじめに

現在、幼保一元化に向けての法改正が勧められているが、子どもと保護者の「最善の利益」のためには、幼保は制度や施設での一元化を図るだけではなく、利用者の立場に立った利用サービス制度が必要であると考え。その制度の検討材料として、「幼保一元化に関する考察（Ⅰ）」では、一元化された就学前教育施設のあり方について考察するモデルとして、ベルギーの教育実情を、「幼保一元化に関する考察（Ⅱ）」では、保育制度や保育内容を紹介した。学校の保育・教育の時間と認められている期間の事項が中心であった。しかし、ベルギーには、通常の保育時間以外に朝・昼・夕の保育サービスや長期休暇中にも保育サービスが有り、家庭で異なる保育事情を考慮している。

そこで、本稿では、日本の預かり保育の発展した形といえるGarderieとStageについて紹介する。就学前の

幼児の全員がEnseignement Maternelと呼ばれる施設に通っており、その施設の中に多様な保育サービスが有り、それをそれぞれの保護者は各自の事情に合わせて取捨選択している。このサービスの実際と利用者の思いを明確にすることが、日本の幼稚園・保育所が一元化された施設のあり方を検討する材料になると考える。

### II. Garderieについて

#### 1. Garderie の概要

ベルギーの義務教育は6歳からであるが、2歳半から通学可能な幼児教育は、ワロン地区（フランス語）ではEnseignement Maternel, フラマン地区（オランダ語）Kleuteronderwijs, ドイツ周辺（ドイツ語）Kindergartenと呼ばれ、小学校に併設されていることが多い。これらは就学前教育を担っている施設として位置づけられている。

この就学前教育施設を本稿では、「幼児保育園」と訳すこととする。自治体国際化協会編集の「欧州連合諸国における就学前の幼児教育と保育制度」には「幼児保育園」と訳しているからである。

次に、Garderieであるが、本稿では、前稿に倣って Garderieを「学童保育」と訳すこととする。なぜなら、その実態が、日本における「預かり保育」より「学童保育」に近いと考えるからである。つまり、「幼児保育園」には、希望する全ての子どもが通学できるため、保育時間等は家庭の保育事情に対応している。日本の幼稚園と保育所を合わせた施設であるといえよう。その保育は「幼保一元化に関する考察（Ⅱ）」で述べたように、平日の8:30～11:50, 13:30～15:50は「幼児保育園」の教員が保育を行っているが、7:15～8:30と15:50～18:00の時間帯はGarderieの教員が保育を行っている。

日本の幼稚園・保育所の時間外保育は通常「預かり保育」であり、幼稚園・保育所の教職員が保育を行う。しかし、ベルギーの時間外保育では園の教職員以外の者が保育を行う。従って、本稿では、前稿に倣ってGarderieを学童保育と訳す。

前稿では、以下の様に学童保育を紹介している。

「就学前教育センターの保育時間は小学校と同じであるため、開園時間が短く昼休みもある。(表3参照)そこで、学校が始まる前、昼休み、放課後に幼児・児童を保育する場としてGardrie (ギャルドリ) と呼ばれる学童保育がある。同じ建物内にあるが、保育者は同じ学校の教師とは限らず、保護者、保育士、あるいはその他のヘルパーである。特に資格は必要ではなく、筆者が子どもを通わせていた学校では教師と地域の年配の女性が交替で保育にあたっていた。

また、長期休暇中は、各コミュニティに学童保育センターが大きな公園や小学校に設けられ、教師や学生が指導している。」<sup>1</sup>

## 2. Garderie の実際

### 1) 平日のGarderie

Sections maternelle & primaire (幼児保育園と小学校)の正規授業時間は前述したように、月火木金は、8:30～11:50, 13:30～15:50であり、水曜日は8:30～11:50である。

日本では、子どもが園にいる限り勤務時間外であっても子どもと共に過ごし、保育を行うが、ベルギーでは他の多くの欧米諸国と同様に勤務時間外は一切子どもに携わらない。従って、朝・昼・夜に子どもを預かる制度がある。それが、Garderie (学童保育) である。多くの園で Garderie (学童保育) は全日7:15～8:30, 11:50～13:30, 15:50～18:00に設けられている。

Institut ST Julien Parnasse(サン・ジュリアン学校)のcirculaires concernant l'année scolaire(学校概要)には以下のように述べられている。

#### FRAIS DE REPAS ET GARDERIES

1. Repas: 100F y compris le prix du potage
2. Réfectoire: 10F par, enfant présent au réfectoire pendant l'heure de midi.
3. Garderie matin et / ou midi : 20F par famille pour les enfants présents entre 7h15 et 8h et / ou pendant le repas de midi  
Un garderie est organisée tous les de 7h15 à 8h30 et de 15h50 à 18h.
4. Garderie du mercredi : 60F pour les enfants non inscrits aux activités  
30F pour les enfants inscrits aux activités

#### IMPORTANT:

Il vous est demandé de respecter les délais pour l'inscription aux repas, ainsi que les modalités de paiement (pas de virement).

訳 (筆者)

#### 食事と学童保育の費用

1. 給食: 1日 100F (約300円)
2. 食堂: 1人 10F (約30円)  
昼休みの時間に食堂を利用する場合(弁当持参)
3. 朝と昼の学童保育: 1家族 1日20F (60円)  
7:15～8:30または昼休みの間  
学童保育は、毎日7時15分から8時30分と15時50分から18時まであります。

4. 水曜日の学童保育：60F放課後活動に不参加の  
子ども  
30F放課後活動に参加する  
子ども

#### 重要事項

急な用事で食事や学童保育を利用する方は、その都度料金を払ってください。

以上のように、土日以外の平日は、どの家庭も（保育に欠ける、欠けないに関わらず）7時15分から18時まで、安心して、子どもを預ける設備が整っている。

#### 2) 平日のGarderieの様子

朝の学童保育の様子について、筆者は当時の様子を以下のように述べている。

「朝7時15分から学校の門は開く。しかし、ほとんどの子どもは8時を過ぎてからお母さんやお父さん、又はおじいちゃんやおばあちゃんに連れられて学校にやってくる。校区がないので、かなり遠くから通っている子どもも少なくない。保護者が学校を選ぶ基準は、保護者の会社や祖父母の家に近いことや評判の良し悪し、宗教などである。自動車で送って来る保護者が多いので、8時～8時30分の間は学校の前の道路だけでなく、近くの幹線道路まで渋滞する。

子ども達は学校に行くと、MA～M2（2歳半～4歳の子ども）は、『お迎えの部屋』という大きな部屋で8時30分まで先生が来るのを待っている。この部屋がギャルドリの部屋で、もちろんギャルドリの先生がいる。M3（年長クラス）と小学生は、運動場で先生を待ち、ここにもギャルドリの先生がいた。雨のときは大きな軒の下で待つことになっていて、教室には入れない。」<sup>2</sup>

※2歳半から4歳の子どもたちが集まる「お迎えの部屋」については、写真1を、年長児以上の子どもたちが集まる「運動場」については、写真2を参照



写真1 年少児のお迎えの部屋（カーニバルの日）



写真2 運動場の様子（小学生と共に）

#### 3) 長期休暇のGarderie

ベルギーの学校では以下のような休みがある。

- Fête de la Communauté française  
(フランス共同体の休み) 9月27日
- Congé de Toussaint (感謝祭の休み)  
10月29日～11月1日
- Congé de Noël (クリスマスの休み)  
12月23日～1月3日
- Congé de Carnaval (謝肉祭の休み)  
3月2日～6日
- Congé de Pâques (復活祭の休み)  
4月13日～24日
- Congé de régulier (国の祝日)  
11月11日, 5月1日  
5月28日～5月29日  
6月8日, 10月28日
- 学年末の休み 7月, 8月の2ヶ月間

これらの休みの間、教員は全員休暇を取り、学校は閉鎖される。日本のように学校で教員がクラブ活動を指導することはない。従って、上記の休暇にはGarderie（学童保育）が開設されるが、やはり学校に合わせて長期休暇を取る保護者が多く子どもの数が少なくなるので、平日とは異なるようである。

長期休暇のためのGarderie（学童保育）については、その時々学校から各保護者にお便りが出る。それを以下に記す。

#### Centre de loisirs Paques

Pour les enfants de 2ème et 3ème maternelles:les classes de nature àRouge-Cloître.

Pour les enfants de l'Enseignement fondamental le Centre scolaire du Souverain.

Les enfants de 2 ½ et de 1ère maternelle:demander le dossier adéquat.

Périodes: 1ère semaine du 5 au 8 avril. 4 jours  
2ième semaine du 11 au 15 avril. 5 jours

Repas: Les enfants recevront : une collation, le matin et l'après-midi.  
Une repas complet à midi.

Participation financière demandée aux parents :		
	Auderghemois	NonAuderghemois
1ière semaine	640F	880F
2ième semaine	800F	1100F

Lieux de départs :

Centre schlaire de la Chasse royale  
(Les Marronniers) - 1179 ch de Wavre.  
Centre schlaire du Souverain - 7, rue des Ecoliers.  
Centre schlaire du pés des Agneaux  
- 20 place E. Pinoy.  
Centre schlaire du Blankedelle  
- 33 av. J. Van Horenbeeck..

Garderie :

Les enfants peuvent se présenter aux garderies à partir de 7 H 15.

Ils partiront vers le lieu d'activité à 8H30 et reviendront vers 16H. Les garderies fonctionneront de 16H à 18H.

訳（筆者）

#### 復活祭の学童保育について

実施期間

第1週：4月5日から8日までの4日間

第2週：4月11日から15日までの5日間

食事

持参するもの：午前と午後のおやつ

昼食は給食があります。

費用

区内の住民：

第1週 640フラン 第2週 800フラン

区外の住民：

第1週 880フラン 第2週 1100フラン

出発場所

la Chasse royale学校

Wavre通り 1179番地

Souverain学校

Ecoliers.通り 7番地

Pés des Agneaux学校

E. Pinoy.広場 20番地

Blankedelle学校

J. Van Horenbeeck通り 33番地

学童保育

7時15分から学童保育が可能です。8時30分から16時までは通常の保育に参加し、夕方の学童保育は16時から18時まで可能です。

長期にわたる休暇の場合、保護者も休暇である場合が多いので、複数の学校の子どもたちを一箇所に集めて学童保育を行っている。そのため、集合場所は通常の学校

であり、そこから送迎バスで一箇所に集まる。この例のAouderghem区においては、区内の子どもたちは幼児保育園の2学年と3学年（年中、年長）はRouge-Cloîtreという区内の公園で、それより幼い子どもたちはCentre scolaire du Souverain.（スブラン小学校）で保育されている。

どちらの場所でも、保育士とアルバイトの学生が保育を担当していたが、教育的配慮より安全面を優先したような保育だった印象である。写真3はRouge-Cloître公園での子どもたちの様子である。



写真3 長期休暇中の学童保育の様子

国全体の休日の場合は、前述のような区が主体となった学童保育が行われるが、学校単位での休日の場合は各学校による学童保育が行われる。以下に、ST JULIEN PARNASSE（サンジュリアン学校）の休日の学童保育に関するお便りを記す。

Chers Parents,

Lundi prochain, 17 mai, il y aura congé pour tous les enfants.

Néanmoins, une garderie sera organisée pour les enfants dont les parents ne pourront assurer la garde.

Cette garderie se déroulera de 7h15 à 18h.

D' avance merci

S. COURTAIN

Directeur

訳（筆者）

保護者各位

次の月曜日、5月17日は全ての子どもたちはお休みです。

保育する人がいないご家庭の子どものために学童保育を設けます。

学童保育は7時15分から18時までです。

敬具

Sクルタン校長

このような学校独自の学童保育の場合は、いつもの学童保育の教員または保育士がいつものように学校に来、いつもの学童保育の場で子どもたちの保育にあたっている。

### III. Stageについて

#### 1. Stageの概要

長期休暇になると、Stage(スタージュ)と呼ばれる習い事活動が開かれる。日本でも〇〇教室と呼ばれる習い事や塾があり、子どもたちは学校以外にも多様な活動を行っている。しかし、日本との違いは活動時間である。ほとんどのスタージュで決められた期間中は、毎日朝9時から夕方6時まで活動や保育を行う。また、前述の学童保育との違いは、指導者の専門性である。どのスタージュもこの期間で何が学べるのかを明らかにして募集を行い、その活動の専門家が指導している。

#### 2. Stageの実際

図1と図2はTobogganという名前の団体が行っているスタージュのパンフレットである。後援をWezembeek, Auderghem, Etterbeekの区が行っているため、区内居住者を優先し、活動場所が区立の小学校であることが特色である。

この例のようにスタージュでの活動は、スポーツ的な分野と芸術的な分野が主である。また、3歳から14歳までが対象であり、学校が休暇中の子どもの保育を主目的としていると考えられる。

## LOISIRS DYNAMIQUES 3 A 12 ANS

Au programme des \*3/5ans:  
Psychomotricité, baby basket, atelier cuisine, initiation musicale et  
rythmique, chant, dessin, collage, modelage, jeux...  
Excursions, spectacles, visites, fêtes...

\*6/12 ans:  
Théâtre, musique, dessin, peinture, danse, gymnastique, ateliers,  
cirque, football, badminton, base-ball, microfilm,  
cinéographie, expression corporelle, mime...  
Excursions, spectacles, visites, natation, fêtes...

PERIODE: du lundi 5 juillet au vendredi 27 Août 93

HORAIRE: activités de  
9h à 16h15  
garderie de  
7h30 à 9h00  
16h à 18h00

PRIX: Enfant habitant Waremboek 1200 f/semaine  
Enfant habitant Auderghem  
et Etterbeek 1300 f/semaine  
Enfant hors commune 1500 f/semaine  
Repas chaud (demi-tarif) 550 f/semaine  
Réduction: 3e enfants inscrit 200 f/semaine  
Difficultés financières: Fonds social Toboggan  
Theory Saens 770 43 39  
(de lundi de 10 à 11h)

## LIEU D'ACTIVITÉS:

AUDERGHEM

Ecole Val Duchesse -  
rue de la Sablière

ETTERBEK

Ecole Ste Geneviève -  
avenue Eugène Pirmez, 45

WAZEMBEK-OPPEM

Ecole St Georges -  
cité St Georges 1



## STAGES DE TENNIS

\* Initiation pour les enfants âgés de 8 à 12 ans  
\* Perfectionnement pour les enfants âgés de 10 à 14 ans

PERIODES: du 5 juillet au 9 juillet  
du 12 juillet au 16 juillet  
du 26 juillet au 30 juillet  
du 2 Août au 6 Août  
du 9 Août au 13 Août  
du 16 Août au 20 Août

LIEU: Parc Stadenne Bel-Air à Waremboek-Oppeem

HORAIRE: de 9h30 à 12h30

PRIX: INITIATION  
enfant habitant Waremboek 2300 f/semaine  
hors commune 2500 f/semaine  
PERFECTIONNEMENT  
enfant habitant Waremboek 2500 f/semaine  
hors commune 2800 f/semaine

Le stage est sanctionné par un brevet.

Avec le soutien de



図1 STAGEパンフレット(1)

## COMMENT S'INSCRIRE

Lieux et dates d'inscription:

AUDERGHEM

Ecole Val Duchesse - rue de la Sablière

le samedi 5/6 de 10h à 12h

le mardi 12/6 de 16h15 à 18h

le mardi 15/6 de 16h15 à 18h

le samedi 19/6 de 10h à 12h

ETTERBEK

Ecole Ste Geneviève - avenue Eugène Pirmez, 45

le mardi 1/6 de 16h15 à 18h

le jeudi 12/6 de 16h15 à 18h

le samedi 19/6 de 10h à 12h

WAZEMBEK-OPPEM

Ecole St Georges - cité St Georges 1

le mardi 26/6 de 16h15 à 18h

le jeudi 3/6 de 16h15 à 18h00

le samedi 12/6 de 10h à 12h



Permanence tous les jours de 10h à 16h

## E T E 9 3

VACANCES  
JEUNES DE 3 A  
14 ANS



TOBOGGAN  
Rue au bois, 331 • 1150 Bruxelles  
Tél. 02/770 43 39  
Permanence tous les jours de 10h à 16h

図2 STAGEパンフレット(2)

訳(筆者)

## 学習プログラム:

- ・ 3歳～5歳  
体操, ベイビーバスケット, 料理, リトミック, 歌,  
デッサン, 造形, 遊びなど
- ・ 6歳～12歳  
演劇, ミュージカル, デッサン, 絵画制作, ダンス,  
運動, サーカス, サッカー, バドミントン, 野球  
など

## 期間:

7月5日(月)から8月27日(金)

## 時間:

活動 9時から16時15分

保育 7時30分から9時

16時から18時

## 費用:

主催する区内居住の子ども 1週間1200F

他区に居住する子ども 1週間1500F

活動場所: 各区内の小学校

その他: 活動を1つに限定したステージもある。

例: テニス, 演劇, マルチスポーツ

ベルギーの学校の長期休暇は, Congé de Toussaint (感謝祭の休み), Congé de Noël (クリスマス of the 休み), Congé de Carnaval (謝肉祭の休み), Congé de Pâques (復活祭の休み), Congé de réguliers (国の祝日) など数多い。しかし, その時には必ず様々な場所でステージがあり, その活動内容や期間も多様であるので, 保護者は自分のニーズに合ったものを選択できる。しかし, 学童保育に比べて費用がかかるので, ほとんどの保護者は, 休暇の大半をステージに通うのではなく, 学童保育や祖父母の所等と組み合わせながら, 長期の休暇を乗り切っている。

## IV. 外国人から見たベルギーの就学前教育

## 1. 「New Comer」の記述から

ベルギーの首都ブラッセルは約4分の1が外国人とされているくらい外国人が多い。そのため, 新しくベルギーの住人となった外国人にベルギーの生活を紹介する雑誌がある。この雑誌の記述を分析することで, 世界各地からベルギーにやってきた外国人が, ベルギーの教育制度や学校での教育内容について感じていることが理解できると考える。

ベルギーの教育制度についての記述は以下のようである。

There are schools run by the state, the provinces and the communes ; colleges , institutes, atheneums and lycées. (a) There are traditional and modern schools ; academic, technical and vocational schools; roman Catholic schools and Jewish schools; schools following the educational theories of pioneers like Steiner, Decroly and Freinet, and specialist schools for the artistic, the musical,

the sporty, the handicapped. Children are cared to from the age of a few months into their 20s, and standards are generally high.

(途中 省略)

(b)Most schools have child-care facilities (free or paying) before and after school to help working parents. Most schools are mixed, but there are a few single-sex (mostly Catholic) schools. There are very few boarding schools.

#### Pre-School

Nurseries (crèche, kribbe) are available for babies, especially for mothers who work full-time, and nursery schools (prégardienne, peutertuin) for children aged 18 to 36 months. More details from the commune or Kind en Gezin.

Kindergartens (jardin d' enfants, kleuterschool) for children from two-and-a-half to 5 are usually attached to primary schools. Many children stay at school all day, but times and days of attendance are flexible. The emphasis is on creative play and learning to get on with other children. In the third year, there is some activity to prepare children for reading and writing at primary school.

#### Primary School

Children start at 6, although they may begin at 5 if the school feels sufficient maturity has been achieved. The emphasis is on language and mathematics, a traditionally strong point of Belgian education. (c)Individual school heads are given increasing freedom to decide teaching methods, although the curriculum is set at national level.

(d)Extra activities may be provided on Wednesday afternoons and Saturdays, such as swimming, gymnastics and arts and crafts. There is homework from early on, and close cooperation between parents and teachers is encouraged.<sup>3</sup>

ベルギーの教育制度の中で外国人がベルギーの特色と

感じていることは、特色ある学校の種類が豊富であること(下線部(a)参照)。ほとんどの学校で、授業前と放課後にchild-care facilitiesがあり、働く保護者に配慮されていること(下線部(b)参照)。学校長の裁量で独自の教育課程を持つことが可能であること(下線部(c)参照)。水曜日の午後と土曜日に水泳、体操、芸術、工芸などの特別な活動があること(下線部(d)参照)。

日本人だけでなく、様々な国の外国人も1つの施設で子どもたちが朝から夕方まで教育や保育を受けることが出来るベルギーの教育制度を特異なものと感じているようである。

## 2. 在ベルギーの日本人の感想から

ベルギー在住の日本人のブログには様々な生活の感想が記してある。その中でベルギーの学童保育についての記述を以下に記す。

「スタージュ」は習い事。コミュニオンを始め、さまざまな団体が1週間単位とか2週間単位とかで朝から夕方(長いと18時くらいまで)月曜から金曜まで毎日習い事をやってくれるんです。

その種類は本当にさまざままで水泳、ゴルフ、絵画、音楽、乗馬、サーカス!?

日本では出来そうもないものまで習えます。

ただしこのスタージュは長期休みのときに行われることが多く今回のカーニバル休暇では行っているところは夏休みや冬休みほど多くありません。

で、ウータは今回「ギャルドリー」に行っていました。この「ギャルドリー」とは簡単に言うと託児です。いつも行く幼稚園も、毎日朝9時前、お昼時間の12時から14時、そして16時以降18時までは「ギャルドリー」扱いで、幼稚園の先生はその時間はいなくてコミュニオンから派遣されているギャルドリー専門の人たちが生徒たちを見てくれています。

今回のカーニバル休暇、うちの幼稚園は近所のもう一つの幼稚園で他の幼稚園と合同でこの「ギャルドリー」をしていていました。休暇中なので朝8時半くらいから最長18時までギャルドリー専門の人が託児してくれます。

お部屋でお絵かきしたり運動したり。いつも行ってる同じ幼稚園のお友達もいっぱい来ているので場所が違うだけ、先生が違うだけでウータ的には毎日楽しく通って

います。」<sup>4</sup>

学童保育を利用して、親子共にベルギーの生活を楽んでいる様子が伝わってくる。しかし、全ての日本人がベルギーの教育を良いと思ってはいない。

3年間のベルギー生活の後、現在帰国して日本に住んでいるI氏夫妻は当時3歳の子どもを、ベルギー、ブラッセル区立幼児保育園からブラッセルのブリティッシュ・スクールに転校させている。転校の理由の第1は「コミュニケーションの問題」第2は「教育方針の違い」第3は「生活指導の違い」である。

第1の「コミュニケーションの問題」は英語が通じないことである。ベルギーの幼児保育園の教員は大学で教育を学ぶときに英語の能力が必要でなく、そのため英語を話すことのできる教員がほとんどいない。I氏の子弟はワロン系（フランス語）の学校だったため、フランス語以外の言語では意思疎通が不可能であった。

第2の「教育方針の違い」とは、乱暴な子どもや手のかかる子どもの保護者に対する指導が厳しいと感じたことである。自分たちの指導に障害となる子どもに対して厳しく指導し、転校を促す傾向にあると感じている。実際、そのような指導がありフランス語を話すことができず、教師の指示に従えないという理由で指導があったという話である。

第3の「生活指導の違い」については筆者も感じるものがあつた。手洗い・うがいの指導がなかったり、食事の時、食べるのが遅い子どもの皿の物を保育者が全て混ぜてしまって早く食べるように促したりと、日本では基本的な生活習慣として重点をおいて指導されている事柄の指導の様子が見られないことである。

以上のようにベルギーの就学前教育のシステムへの疑問ではなく、教員の指導上の問題で転校を決意したという話であった。

## V. おわりに

2010年から2012年の3年間をかけて、ベルギーの教育について論じてきた。3人の子育てを通して幼保一元化実現を願い、その未来像を探るために教育先進国であるベルギーの教育制度や施設、教育方法、内容等が参考になると考えたからである。

しかし、この3年の間に日本の情勢も変化し、2013年には「子ども・子育て新システム」によって「子ども園」の導入が検討されている。しかし、厚生労働省と文部科学省の管轄の違いを乗り越えるために、多様な課題が存在する。例えば、補助金、保護者の費用負担といった問題だけでなく、おやつを何にするかという現場ならではの悩みがある。預かり保育の幼稚園児は軽めのを望み、迎えが遅い保育園児は腹持ちのいいものを頼むそうである。現実に行わなければ分からないことも多くあろうが、子どもたちにとっては、生涯唯一の大切な幼児期であることを考慮すれば、失敗は許されるべきではない。実現までに十分な議論が必要である。

ベルギーのように幼児期の保育を就学前教育として1つの施設で行っている国は多い。それらの取り組みを検証し、良い点を導入し良くない点を改善することによって、幼保一元は先進的なものとなると考える。

## 引用文献

1. 小野順子, 幼保一元化に関する考察(I), 中国学園大学紀要 第8号, p120
2. 小野大・小野順子, Nouvelles du Pays de la Forêt de Soignes(1994) pp35
3. Monique Ackroyd : New Comer, Ackroyd Publications S.A. (1990) pp67
4. 2011年3月末時点でのアドレスは以下の通り <http://okirakubelgium.blog27.fc2.com/>

## 参考文献

1. 辻井正 (2005) PISAショックー学力は保育で決まる. オクターブ
2. 鈴木恭平他22名 (1991) 副読本ベルギー. ベルギーブラッセル日本人学校.
3. 久野弘幸 (2004) ヨーロッパ教育 歴史と展望. 玉川大学出版部
4. 幼稚園のあす3, 河北新報 2010年12月10日版